

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	超新星残骸と宇宙線加速	富田 洋 608
EUREKA 〈研究紹介〉	銀河系の回転とダークマター	本間 希樹 617
天球儀 〈読物〉	天体名の正しい表記について — 「バベルの塔」を築かないために—	西村 史朗 624
	SETI@home —分散処理による地球外生命体探索—	立川 崇之 628
シリーズ	《 ^{そらと} 天空翔ぶ天文台(10)》 そして、宇宙からの天文観測の未来へ	上野 宗孝 634
雑報	天文教育フォーラム 「古くて新しい問題：OD問題の現状 ～天文学会研究者人口調査から見えてくるもの～」	636
	日本天文学会 早川幸男基金による 渡航報告書	638
年会	日本天文学会 2000 年春季年会のお知らせ	639
月報だより		646

[表紙説明]

ASCA 衛星の GIS カメラで取得された超新星残骸 SN 1006 の X 線写真 (エネルギーバンドは 0.7-10.0keV)。明るい部分は 10^{14} eV まで加速された高エネルギー電子がシンクロトン放射で輝いている。宇宙線の加速現場の決定的な証拠写真といえるだろう。γ線 ($\sim 10^{12}$ eV) でも同様な証拠が得られている。リング状 (シェル状) に見えるのは「フェルミ加速」と呼ばれるメカニズムで加速が行なわれていることを示唆する。ASCA 衛星は他の超新星残骸からも同様な高エネルギー電子の存在を示すデータを得ている。 (SKYLIGHT 参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)